



平成29年 7月31日

各 位

会社名 : 株式会社UKCホールディングス
(コード : 3156 東証第一部)
代表者名 : 代表取締役社長 福寿 幸男
問合せ先 : グループ執行役員
経営企画部門長 大澤 剛
(TEL : 03-3491-6575)

(訂正) 「平成29年 3月期 第2 四半期決算短信 [日本基準] (連結) 」の一部訂正について

当社は、平成28年10月31日に開示いたしました「平成29年 3月期 第2 四半期決算短信 [日本基準] (連結) 」の一部を訂正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 訂正内容と理由

平成29年 7月31日に公表いたしました「第8期有価証券報告書の提出、過年度の有価証券報告書及び四半期報告書の訂正、並びに平成29年 3月期決算短信の提出、過年度の決算短信等の訂正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後の全文を添付し、訂正の箇所には下線を付して表示しております。

以上

(訂正後)



株式会社 UKCホールディングス

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成28年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社UKCホールディングス

コード番号 3156 URL <http://www.ukcgroup.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福寿 幸男

問合せ先責任者 (役職名) グループ執行役員経営企画部門長 (氏名) 大澤 剛 TEL 03-3491-6575

四半期報告書提出予定日 平成28年11月7日 配当支払開始予定日 平成28年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	<u>131.912</u>	<u>△3.4</u>	<u>△329</u>	二	<u>△907</u>	二	<u>△1.117</u>	二
28年3月期第2四半期	<u>136.487</u>	<u>14.0</u>	<u>△27</u>	二	<u>△209</u>	二	<u>△1.087</u>	二

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △1.828百万円 (-%) 28年3月期第2四半期 △1.455百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	<u>△71.20</u>	—
28年3月期第2四半期	<u>△69.28</u>	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	<u>116.860</u>	<u>44.827</u>	<u>38.0</u>	<u>2.831.36</u>
28年3月期	<u>115.758</u>	<u>47.078</u>	<u>40.3</u>	<u>2.973.11</u>

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 44.443百万円 28年3月期 46.669百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
29年3月期	—	30.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	282,000	<u>1.9</u>	5,000	二	4,300	二	3,000	二	191.12

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示）」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期2Q	15,700,021株	28年3月期	15,700,021株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	2,984株	28年3月期	2,907株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期2Q	15,697,064株	28年3月期2Q	15,697,348株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算説明資料の入手方法について）

四半期決算説明資料は当社ウェブサイトに掲載いたします。なお、当社は、平成28年11月25日（金）に機関投資家、証券アナリスト向けに説明会を実施する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新興国経済の停滞に加えて、4月に発生した熊本地震の影響や6月下旬の英国のEU離脱決定に伴う急激な円高により、特に輸出企業の業績下振れリスクが高まるなど、緩やかな回復基調が足踏み状態になりつつあります。

当社グループが属しておりますエレクトロニクス業界におきましては、その牽引役をスマートフォンに依存する傾向が続いていますが、その成長性は鈍化しています。その一方で、自動車の電子化やI o T (もののインターネット化)の進展により、新たな市場の拡大が期待されます。

このような状況の下、当社グループは、ソニー製の半導体・電子部品事業を軸とし、自社工場におけるEMS (電子機器受託製造サービス) 等の高付加価値事業の拡大、取扱い製品の拡張、新規事業の創出に引き続き注力してまいりましたが、売上高は円高に加え、熊本地震の影響もあり減少しました。また、連結子会社であるUKC ELECTRONICS(H.K.)CO.,LTD.(以下、UKC香港という)における貸倒引当金計上等により、営業損失、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,319億12百万円(前年同期比3.4%減)、営業損失は3億29百万円(前年同期は27百万円の損失)、経常損失は9億7百万円(前年同期は2億9百万円の損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は11億17百万円(前年同期は10億87百万円の損失)となりました。

(報告セグメント別の業績)

・半導体及び電子部品事業

半導体及び電子部品事業におきましては、円高の影響に加えて、熊本地震の影響による一部製品の販売機会損失もあり、減収となりました。また、UKC香港における貸倒引当金計上等により、セグメント損失を計上しました。

以上の結果、売上高は1,239億88百万円(前年同期比3.5%減)、セグメント損失は3億4百万円(前年同期は75百万円のセグメント利益)となりました。

・電子機器事業

電子機器事業におきましては、オリンピック関連や医療関連のビジネスは好調だったものの、熊本地震の影響による監視カメラ製品の調達難等により減収となりました。セグメント損失は、利益率の向上により、わずかに改善しました。

以上の結果、売上高は73億28百万円(前年同期比2.4%減)、セグメント損失は30百万円(前年同期は31百万円のセグメント損失)となりました。

・システム機器事業

非接触ICカード関連事業におきましては、電子マネー関連ビジネスの商談は引き続き活況に推移しているものの、一部ビジネスの下期シフトもあり、減収となりました。その一方で、半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス事業におきましては、車載向け等受注増により、増収となりました。セグメント利益は、利益率の向上により増益となりました。

以上の結果、売上高は14億42百万円(前年同期比0.2%増)、セグメント利益は93百万円(前年同期比186.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して11億1百万円増加し、1,168億60百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加20億84百万円、受取手形及び売掛金の減少12億90百万円、電子記録債権の増加7億28百万円、たな卸資産の減少17億43百万円、その他流動資産の増加24億61百万円、貸倒引当金の増加8億73百万円、投資有価証券の減少5億29百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比較して34億2百万円増加し、720億81百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加39億41百万円、短期借入金の増加29億43百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少14億62百万円、未払法人税等の減少5億21百万円、その他流動負債の減少65百万円及び長期借入金の減少12億58百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して22億51百万円減少し、448億27百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失11億17百万円、利益剰余金からの配当3億92百万円、為替換算調整勘定の減少7億51百万円を主因としたその他の包括利益累計額の変動額6億98百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は、次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、8億94百万円(前年同期は71億63百万円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失(6億77百万円)、売上債権の増加(43億1百万円)、たな卸資産の減少(6億65百万円)、仕入債務の増加(75億99百万円)、貸倒引当金の増加21億98百万円及び法人税等の支払額(8億85百万円)によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、6億72百万円(前年同期は3億35百万円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出(8億83百万円)、定期預金の払戻による収入(6億円)と預入による支出(6億円)及び投資有価証券の売却による収入(3億14百万円)によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、26億57百万円(前年同期は31億89百万円の獲得)となりました。これは主に、運転資金のための短期借入金の純増加(54億69百万円)、長期借入金の返済による支出(24億2百万円)及び配当金の支払額(3億92百万円)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、急激な円高に伴い、特に利益面で前年同期を大きく下回る結果となりました。第3四半期以降は、円高ながら為替レートは安定傾向にあるとともに、足もとの顧客の需要動向も堅調であることから、収益性の改善が見込まれます。通期業績予想としては、下期のドル為替レートを期初予想の115円から105円に見直したこともあり、売上高、利益ともに平成28年5月10日公表の予想を下回る見込みとなり、平成28年10月28日に修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示）

（会計方針の変更）

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

（追加情報）

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,705	24,790
受取手形及び売掛金	69,780	<u>68,489</u>
電子記録債権	2,444	3,173
商品及び製品	17,849	15,755
仕掛品	460	717
原材料及び貯蔵品	632	725
その他	5,800	<u>8,262</u>
貸倒引当金	<u>△10,954</u>	<u>△11,918</u>
流動資産合計	<u>108,720</u>	<u>109,997</u>
固定資産		
有形固定資産	2,310	2,820
無形固定資産	338	433
投資その他の資産		
投資有価証券	3,255	2,726
その他	2,345	2,004
貸倒引当金	<u>△1,211</u>	<u>△1,121</u>
投資その他の資産合計	<u>4,388</u>	<u>3,609</u>
固定資産合計	<u>7,037</u>	<u>6,863</u>
資産合計	<u>115,758</u>	<u>116,880</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	34,945	38,887
短期借入金	22,522	25,466
1年内返済予定の長期借入金	2,825	1,362
未払法人税等	1,050	<u>480</u>
賞与引当金	530	366
その他	2,295	2,230
流動負債合計	<u>64,169</u>	<u>68,791</u>
固定負債		
長期借入金	3,635	2,376
役員退職慰労引当金	38	39
退職給付に係る負債	368	351
その他	467	473
固定負債合計	<u>4,509</u>	<u>3,240</u>
負債合計	<u>68,679</u>	<u>72,032</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,383	4,383
資本剰余金	6,342	6,342
利益剰余金	<u>32,579</u>	<u>31,052</u>
自己株式	△4	△5
株主資本合計	<u>43,300</u>	<u>41,773</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	588	637
為替換算調整勘定	<u>2,843</u>	<u>2,091</u>
退職給付に係る調整累計額	△62	△58
その他の包括利益累計額合計	<u>3,368</u>	<u>2,670</u>
非支配株主持分	409	383
純資産合計	<u>47,078</u>	<u>44,827</u>
負債純資産合計	<u>115,758</u>	<u>116,860</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	136,487	131,912
売上原価	127,442	124,765
売上総利益	9,044	7,147
販売費及び一般管理費	※9,072	※7,476
営業損失(△)	△27	△329
営業外収益		
受取利息	44	16
受取配当金	16	17
仕入割引	3	4
その他	44	45
営業外収益合計	108	84
営業外費用		
支払利息	147	173
売上債権売却損 為替差損	1	3
その他	111	425
その他	29	60
営業外費用合計	289	662
経常損失(△)	△209	△907
特別利益		
投資有価証券売却益	—	230
特別利益合計	—	230
税金等調整前四半期純損失(△)	△209	△677
法人税等	897	452
四半期純損失(△)	△1,106	△1,130
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△19	△12
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,087	△1,117

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	<u>△1,106</u>	<u>△1,130</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△197	48
為替換算調整勘定	<u>△150</u>	<u>△751</u>
退職給付に係る調整額	△0	3
その他の包括利益合計	<u>△348</u>	<u>△698</u>
四半期包括利益	<u>△1,455</u>	<u>△1,828</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>△1,435</u>	<u>△1,816</u>
非支配株主に係る四半期包括利益	△19	△12

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△209	△677
減価償却費	278	277
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△12	△5
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,370	2,198
売上債権の増減額(△は増加)	△4,403	△4,301
たな卸資産の増減額(△は増加)	△279	665
仕入債務の増減額(△は減少)	△2,515	7,599
その他	△1,973	△3,831
小計	△5,744	1,924
利息及び配当金の受取額	60	34
利息の支払額	△161	△179
法人税等の支払額	△1,317	△885
営業活動によるキャッシュ・フロー	△7,163	894
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△229	△883
有形固定資産の売却による収入	20	—
投資有価証券の取得による支出	△3	△62
投資有価証券の売却による収入	—	314
定期預金の預入による支出	△600	△600
定期預金の払戻による収入	1,216	600
その他	△68	△40
投資活動によるキャッシュ・フロー	335	△672
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	4,576	5,469
長期借入金の返済による支出	△1,065	△2,402
配当金の支払額	△313	△392
非支配株主への配当金の支払額	△10	△13
その他	1	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,189	2,657
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	△977
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,673	1,903
現金及び現金同等物の期首残高	26,141	21,905
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	181
現金及び現金同等物の四半期末残高	22,468	23,990

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	半導体及び 電子部品	電子機器	システム機 器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	<u>128,461</u>	6,755	1,269	<u>136,487</u>	—	<u>136,487</u>
セグメント間の内部売 上高又は振替高	44	751	170	967	△967	—
計	<u>128,506</u>	7,507	1,440	<u>137,454</u>	△967	<u>136,487</u>
セグメント利益又は損失 (△)	<u>75</u>	△31	32	<u>76</u>	△104	<u>△27</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△104百万円には、セグメント間消去取引△1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△103百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性がないため記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	半導体及び 電子部品	電子機器	システム機 器	計		
売上高						
外部顧客への売上高	<u>123,926</u>	6,641	1,345	<u>131,912</u>	—	<u>131,912</u>
セグメント間の内部売 上高又は振替高	62	687	97	847	△847	—
計	<u>123,988</u>	7,328	1,442	<u>132,760</u>	△847	<u>131,912</u>
セグメント利益又は損失 (△)	<u>△304</u>	△30	93	<u>△241</u>	△88	<u>△329</u>

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△88百万円には、セグメント間消去取引1百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△89百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性がないため記載を省略しております。